

しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことはありません。

わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。

高松泉キリスト教会 ニュースレター

第 189 号 (2026 年 1 月号)

いずみ

仮会堂：高松市浜ノ町 60-78

(日曜日のみ)

Tel ; 087-867-2302

発行人 宮地 宏一



HAPPY NEW YEAR

新しい年 2026 年、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします！

先日受けた健康診断で、悪玉コレステロールと血圧が高く、お医者さんから動物性の油を避け、運動をするようにとの指導を受けました。昨年も同じ結果だったので、少しは気をつけていたつもりですが、まだまだだったようです。もっと運動をするために、子どもたちを誘ってキャッチボールをしました。ところが高め低め、右に左に定まらない私のボールを追って子どもたちは大汗をかいていますが、私の運動には全くなりません。運動するって、こんなに難しいとは…。まずは投げる練習から始めます笑



いよいよ 2 月 1 日(日)から新しい教会堂での礼拝がスタートします。オープンチャーチも予定していますので、ぜひお越しください！

今月も神さまからの恵みが、お一人お一人の上に豊かに注がれますように。

(2026.01.01)



結構汚かった…

キレイ好きか、キレイ好きでないかと問われたら、私はキレイ好きな方だと思います。それなのに机の上には書類や本が積まれて、ゴチャゴチャ。「どこがだ〜」と家族に突っ込まれそうですが、どこに何があるかは一応把握しているつもりです。新型コロナウイルスが蔓延して以降、私たちのキレイ好きは加速し、除菌・殺菌・抗菌などと書かれたものが増えたような気がします。でも菌が全くなければ健康で、病気になるわけではないようです。

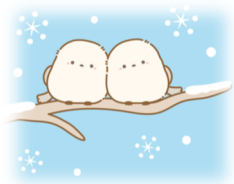


あるところに「過度な除菌や殺菌は免疫力を弱めるだけかもしれない。床やテーブルにこぼれ落ちたご飯を拾って食べるぐらいがちょうど良い」とあり、思わず笑ってしまったのです。私が幼いころ、【5 秒ルール】というのがありました。

5 秒までだったら、落ちたものは食べても大丈夫という何の科学的根拠もないルール。私もよく落ちたものを 5 秒以内に食べていましたが、お腹を壊したことはありませんでした。もしかしたら【5 秒ルール】のおかげで、私の免疫力は高まっていたかもしれません。

また「キレイ好き」が加速したことで、人間関係に溝が広がったように感じるのです。寛容さが失われ、多くの人が自分のことばかりを考えています。多様性よりも同質性を求め、自分と気の合う仲間ということだけを好んでいるのです。ある時、「日本人ファースト」と書かれているのを見た長女が「海外の人たちが見たら、どう思うかな？」と至極当たり前のことを口にしていました。この当たり前の感覚がなくなっている現実に、恐ろしさを覚えたのです。





確かに、自分と全く違う考えや異なる習慣の人と一緒にいることは**ストレス**になるかもしれません。

でも彼らと一緒に時間を過ごすことで、自分のうちにある偏狭に気づかされ、**豊かさ**を経験する機会にもなるのです。

先日、臨床心理士の**東畑開人**さんが「誰しもある汚さ 笑いあえたら」という記事を書いておられました。東畑さんは昔、潔癖症・引きこもり・**排外主義**の少年のもとに通ったことがあったそうです。その彼の心が少しずつ開かれてきた時に、一つの事件が起こるのです。

…彼は言った。「靴下、汚れてんで」。見ると確かに足裏が汚かった。…「ごめん、脱ぐよ」というと、今度は彼がひどく慌てた。

「いや、脱いだらあかん、スリッパがいい」。そして、言ったのだ。「うつるやん、俺、昔、水虫だったから」

その瞬間、私たちは同時に爆笑した。汚い汚いと言い募ってきたけど、私も彼も結構汚かったのが可笑しかったのだ。清潔な部屋に、不潔なものを笑える余白が生まれた。…

私たちは生きていれば、やはり何かを汚く感じるし、身の回りをきれいにしておきたいと思う。誰しも、ある程度は鎖国している。外を排し、内側を守ろうとするのは心の自然な働きなのだ。ただし、鎖国があまりに強まると、それは逆に恐怖を生み出す。汚いものの排除を徹底すると、世界も他者も余計に汚れたものに見えてくるし、自分の中から汚いものが湧き出してくることに**耐えられなくなる**。

【朝日新聞 2025.12.18「社会季評」より】



この話はフィクションだそうです。でも、この記事を読みながら、自分の内にも少年のような排外主義があることを示されました。そして私も**結構汚い**のです。私たちはどんなに外側を綺麗に装っても、その内側は綺麗ではありません。でも自分が綺麗だと思い込もうとし、人の汚さに**耐えられなくなる**のです。

聖書は、私たちの内側が汚れて満ちていると語ります。私は以前、自分が良い人だと思っていたのです。でも、ある時から自分の**心の汚さ**を思い知らされることになります。【すぐに人を攻撃してしまう】【嘘をついて自分を守ろうとする】【悪口・噂話を喜んでいる】自分の内からどんどん悪いものがあふれ出て、**耐え切れなくな**ったのです。私は**何年も**自分の汚れと戦いましたが、自分の力では無理でした。

そんな自分に絶望したとき、一つの聖書のことばに出会ったのです。

「**私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます**」

(ローマ人への手紙 5章8節)

私たちを造られた神さまは、私たちの汚さ・悪をすべてご存じの上で、なおも**愛してください**。さらに私たちの汚れを取り除くために、イエスさまが**十字架**で死んでくださったのです。この事実を知ったとき、私の心はとても軽くなりました。そして自分の内からあふれてくる、自分ではどうすることもできなかった汚れをイエスさまに**委ねる**ことができたのです。このように自分の汚れを受け入れることで、周りの人の汚れも受け入れることができ、互いに許し合い、認め合えるようになるでしょう。これは本当に**素敵なこと**ですね。



- **礼 拝**
- **イズミン・キッズ**
- **おやこ de えほん**

毎週日曜日 10:30~12:00
毎週日曜日 9:30~10:20
毎週水曜日 10:30~12:00



* どなたでも歓迎いたします！すべて事前申込みなしで参加いただけます。

上記の他に様々な相談や聖書の学びをすることができます。お気軽にお問い合わせください。